

2025 年 9 月 13 日(土) 14:00~16:30

会場:埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園(定員 25 名) & オンライン(ズームウェビナー)

「手話法教育時代の手話(テバナシ)と聾啞に近付こう」

一身を賭して手話を守り抜いた小西信八先生の勇退 100 周年を迎えて一

手話通訳・文字通訳あり

講師:岡本(加藤) 洋 (関東聾啞史研究会)



《講師 プロフィール》
大塚校および附属校のご出身で、ろうあのご両親のもとで育ちました。学問の基盤となる歴史学を深く追求されており、現在は関東聾啞史研究会の主幹を務められています。その専門知識に加え、多岐にわたる分野でご活躍されており、まさに独立したプロフェッショナルとしてその能力を発揮されています。

座談会「今後のろう教育について」

岡本(加藤)洋、野崎 誠(ろう・難聴教育研究会代表)、新井孝昭(同運営委員)、他

- 13:45~ZOOM 入室
- 14:00~14:05 開会あいさつ
- 14:05~15:30 講演
(休憩 15 分)Q&A で質問入力
- 15:45~15:55 質疑応答
- 15:55~16:25 座談会
- 16:25~16:30 閉会あいさつ

.....
* 申込時のお願い *
①「今後のろう教育」について、申込フォームの設問にご意見、ご質問をご記入下さい。当日の座談会の参考にします。
②ハイブリッド開催です。
会場(埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園)の定員は 25 名です。会場での参加をご希望の方は申込時に選択してください。定員に達した場合は、オンラインへ変更させていただきます。ご了承ください。
.....

講師は啞者(ヲシ)であり、ろうあ歴史の情熱的な探究者である岡本(加藤)洋氏。長年にわたり研究会での発表を重ね、ろうあ教育と手話の深遠な関係性、そしてそれを取り巻く、あ者・ろう者・関係者とその歴史的背景に、鋭い洞察の目を向けてこられました。

岡本氏自身、自らの手話表現のあり方を常に模索し続けています。歴史の中に埋もれた手話の真実を丹念に掘り起こし、「これで良いのか」と自問自答を繰り返す真摯な葛藤の中で、今を生きる人たちへのインタビューやフィールドワークを何よりも大切にされています。その姿は、まさに歴史の生き証人と言えるでしょう。

本講演では、日本の教育史に燦然と輝く重要人物、小西信八先生の生涯に光を当てます。明治、大正、昭和という激動の時代から現代に至るまでのろうあ学校の変遷を辿り、そして、これからのろうあ教育が目指すべき未来を、私たちと共に深く考察していきます。

小西先生が手話を守り抜くために尽力されてから 100 周年という節目に、岡本氏が熱く語る「手話(テバナシ)」の魂と、ろうあ者の真実に迫る貴重な機会です。どうぞご期待ください。

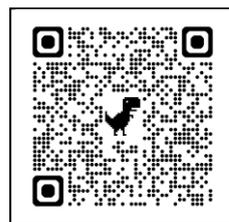
■ **申込締切日:2025年 9月 10日(水)24時** (時間厳守、これ以降は受付不可)

■ **参加費:**ろう・難聴教育研究会会員(年会費納入済み会員)は、無料です。

非会員、及び、年会費未納(2026年6月末までの会費未納)会員は、1000円です。

■ **申込手順**

- ① QRコードからろう難研 HPの申込フォームから送信して下さい(会員は完了)。
- ② 非会員、年会費未納会員は、参加費(1000円)を下記より振込んで下さい。
 - * 申し込みと振込を同時に行っていただくようお願いします。
 - * 事務局から「受付しました」などのメールはお送りしていません。
 - * ZOOMの招待メールは、申込締め切り(9月10日)以降にお送ります。



申込 QR コード

■ **振込先:**【ゆうちょ銀行から】→ 口座番号:00110-2-314972 口座名義:ろう・難聴教育研究会
【他銀行から】 → ゆうちょ銀行(9900) 店名:〇一九(ゼロイチキュー)
口座番号:当座 0314972 口座名義:ろう・難聴教育研究会

■ **キャンセル:**締切日までに参加費の入金確認ができない場合は、こちらでキャンセルといたします。
ご注意ください。また、締切後のキャンセルは返金出来ません。

■ **動画視聴:**ご都合やオンラインの不具合などで当日視聴が出来なくても、後日、動画視聴(期限付き)が可能。希望の方は、必ず下記事務局にご連絡ください。

■ **【連絡・問合せ先】**事務局 info@edh.main.jp (担当:森崎)
ホームページ URL:<https://rounan-ed.com>

＜ろう・難聴教育研究会の会報バックナンバー販売のお知らせ＞更新 2025.8月

会報バックナンバー (29号~51号:300円、52号~57号:500円)

問合せ先: info@edh.main.jp

29号	手話ができるお医者さん、がんばる!~聴障・医ネットって何?~(平野浩二)他	2012年
30号	手話研修ワークショップ(原田房枝)・明晴学園での算数数学の授業(榎陽子)他	2012年
31号	学級活動でのやり取りを取り上げて~幼稚部実践報告~(戸田康之)他	2012年
33号	難聴児の現状と将来(福島邦博)他	2013年
34号	江副文法を活用した日本語指導、教科指導の実践(島田静香)他	2013年
35号	聴覚障害発見後の相談支援システムのあり方(武居渡)他	2013年
37号	第26回ろう教育を考える全国討論集会東京	他 2014年
42号	ろう児の放課後等デイサービスの立ち上げまでとその後~群馬の取り組み~	他 2017年
43号	幼稚部教育の実践報告(千葉聾学校、栃木県立ろう学校、明晴学園)他	2017年
44号	手話環境の確保をめざす支援団体の取り組み(新潟:阿部光佑)他	2018年
47号	自ら遊び、自ら学ぶ”ろう保育”をかかげて(戸田康之)	他 2019年
48号	自民党議連の「難聴対策」提言と「朝日新聞記事」をめぐって	他 2020年
49号	聞こえない、聞こえにくい子ども達と保護者の未来のために(関根久美子)他	2020年
51号	乳幼児早期支援の「ゆくえ」と「現状」(中川尚志、坂口和俊、早川 恵)	他 2021年
53号	聴覚障害児の切れ目のない支援を目指して(山崎 佳都子)	他 2023年
54号	「ろう重複」児への教育を考える(松崎丈) ろう児・難聴児への絵本読み語りを考える(戸田康之、佐沢静枝)	2023年
55号	私の子育てからの問題提起~ろう教育 はじめのいっぽ その1~(南村洋子) 「手話パフォーマンス甲子園」に参加して見えてきたもの(廣瀬彩奈、他)	2024年
56号	ろう教育はじめのいっぽ その2~4	(南村洋子) 2024年
57号	ろう教育はじめのいっぽ その5(武蔵・三重・関根) / その6(沖辺仁美)	2025年